

すいか部会

菊池すいか



昨年は部会で目標に掲げていた販売高10億円を初めて突破し、スイカに対する需要の高まりを実感しています。今年は厳しい天候の中でも、高品質な美味しいスイカが出荷できています。スイカは夏のイメージですが、熊本県産スイカの旬は春です。シャリツとした口当たりの甘いスイカをご賞味ください。安心の作物生産に心掛けています。

部会長 安武茂



小玉スイカの収穫作業
息を合わせて慎重に行います



昼夜の寒暖差でより美味しく

西合志・合志の施設園芸地帯を中心に、昭和初期からスイカの生産が盛んに行われています。冬は冷え込みが強く、夏は猛暑となる盆地型の厳しい気候で育まれる「菊池すいか」は昼夜の寒暖差により美味しくなります。出荷の際は、選果機の光センサーで1玉1玉厳しく選別し、全国に出荷しています。

令和7年産小玉スイカは2月18日から出荷を始め、大玉スイカは3月21日から出荷が始まりました。4月・5月の需要期に向けて、出荷作業も進んでいます。JA菊池すいか部会では、高まるカット販売の需要に適応するため、糖度が高く安定し、シャリ感に優れた大玉は「春のだんらんRV」、小玉は「ひとりじめ7EX」を中心に品種を選定し、品質・食味についても消費地から高い評価を得ています。



大玉スイカ
査定会
ますたたいて
手の感触で
確認

交配日の印を毛糸で色分けし、定期的に査定会を開き出荷日を決めています。

令和7年度 部会員59戸

栽培面積 大玉：69.8ha 小玉：12.6ha

小玉スイカ出荷期間 2月下旬～6月下旬

大玉スイカ出荷期間 3月下旬～6月下旬

出荷先は、関東・関西を中心に、県内へも出荷を行っている